

◆通所介護ナイス・デイ◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス  
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036  
代表TEL：(0567)26-3921  
FAX：(0567)26-3922  
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

《11月予定》

- 3日 気まぐれ市 (打太鼓)
  - 10日 外食DAY
  - 14日 津島市法人会イベント in 生涯学習センター (打太鼓)
  - 17日 運営推進会議 (小規模多機能)
  - 30日 誕生日会
- ※月末祖父江いちょう祭り

《不定期行事》

天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

《利用状況案内板 (☆募集中 ★満員)》

☆ナイス・ケア **利用者さん大募集!**

☆ナイス・デイ (定員 10名/日)

日	月	火	水	木	金	土
4	8	7	7	5	7	6

☆ナイス・ホーム (定員 25名、登録者 18名)

☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 15名)

☆つしま紹介所 ☆ナイス・キッズ

★打太鼓

～上記を参考にご利用下さい～

ようこそ/愛宕の家

先月、愛宕の家に入居された N さん。前回書いたとおり90歳超えの方が多く我が家だが、N さんもこれまた御年90歳。

Nさんは、もともとナイス・デイを利用してみえたため、デイ利用時に愛宕の家にも顔見知りができた。相部屋の方とも打ち解けておしゃべりしている。又、時間があれば『ナンクロ』をして常に頭の体操をしている。「歩行器を使って歩きたい!」「自分でベッドから立つときはこうやるの!」と介護ベッドを上げ下げし、工夫して自分でベッドからの立ち上がり等をしてみえる。小柄でしっかり者だけど可愛らしいといった印象だろうか。でも、まだ日が浅いせいもあるのか、とにかく遠慮深くて気を使いすぎているのではと思う節がある。

せつかく愛宕の家にみえたのだから、これから徐々に本音を出してもらえればよいと思う。時にはちょっとした言い合いとかしたりして…。でも、しっかりした方だから、こちらが論破されてしまうかも(?)こうやって少しずつ本音と気遣いを繰り返しながら、居心地の良い場所になってくれれば言う事はない。そのためにも、私も本音でぶつかっていくよ。(K. T)



自分らしく生活する事/ナイス・ケア

Oさんと私達との出会いは、骨折。

骨折を機に一人では不安で大好きなお風呂に入れなくなってしまったため訪問介護を利用される事になった。しばらくすると、骨折は完治に向かい始める。

同時に、今までやらなかった家事や趣味などの生活活動を生き生きと元気に再開。訪問時には、「散歩へ行って来た。」と嬉しそうな顔で話をされることも増えてきた。

そんなことを耳にする度、私達は嬉しさ半分、不安半分。何故なら、骨折して活動が低下していた生活の期間中に、全身・特に足の筋力は低下していたのが傍目に見て取れたためです。元気に動けるようになった事が嬉しくて活動し始めるOさん。活動が増えるから筋力アップと単純には喜べない。活動=転倒

訪問の度に、『転んじゃた』という言葉が聞こえるようになり、顔や手に傷が増える。

当然、家族やケアマネさんも段差解消等の転倒防止策を検討していた。その矢先、『自宅で転倒され、骨折のため入院となった』と連絡が入る。自分らしい生活ができる事と紙一重で大きなリスクもある事を改めて思い知らされた。(T. Y)

実践に活かす/ナイス・デイ

10月22日、11月18日、19日、1月19日、20日(全5回)の認知症介護実践者研修受講中。

研修では様々な分野の講義を受け、認知症の基礎知識を学ぶ。加えて、事例等でグループワーク。他者(多職種)からの意見を収集できるチームケアを実感する。ただの研修であればそこで終了。しかし、この研修はそれだけでは無い。実践者研修というのは職場実習を通して学ぶ機会がカリキュラムに入っているからだ。職場実習(実践)では、自分で掲げた検討事例や課題をスタッフ間で共有し実行する。実際に肌で感じて学ぶ。それらを通して、知識や理解を深める事が目的なのだとは私を感じている。

現在、ナイス・デイの利用者さんは、中～重度の認知症を抱えている方が多い。強い帰宅願望。不穏になり興奮状態。1分後?30秒後には会話の内容を忘れてしまう。

顔や生活が違うように、10人いれば10人とも認知症の症状は違う。『これが正しい!』という対応は無い。「帰宅願望はなぜ起きるのか?」「不安になっている原因は何か?」思索し続けている。

今後、研修がすすむにつれ目の前の利用者さんへも様々な角度から掘り下げて考えていけるのではないかと考えている。正しい対応は利用者さんが教えてくれる。私たちは知識や情報の引き出しを増やし、相手の気持ちに寄り添って対応していく。(M. O)



認知症と介護/S・O・S

全国介護事業者協議会が主催する海外視察研修に参加してきた。行き先がドイツだったので飛びついた。

日本が介護保険を導入する際に手本とした国。今後の介護保険の動向がどうなるのか、ドイツの介護保険はどうなっているのか……。

印象に残ったのは“認知症の介護判定の難しさ”だ。名立たる病気による身体的な介護の必要性は意外と適切に評価されるが、“認知症”は軽く判定される。

認知症のみの診断である場合、身体的に元気な人が多い。現在の介護認定は身体的に“出来る”or“出来ない”で判定する項目だ。ドイツの施設の方は悩んでいた。

認知症だけの場合、身体的には色んなことが出来るから介護度が軽度に出てしまう。本当は四六時中と言っているほど目が離せないこともあるのにだ。日本では計画書も必要だ。特に訪問介護では身体介護なのか生活援助なのかも区別しにくい。生活援助しながら行動見守りや対応は何に当たるのか?見守りや安否確認は理由にならない?じゃあ認知症介護はどういった計画でどう関わったらいいのだ!?ヘルパーや介護職員は実践で様々な課題を課せられる。それなのに評価は低く低賃金。そこも同じだった。残念でしかない。この先、日本は、私達はどうなるのだろう。(A. I)



定員枠を増やしました/ナイス・ホーム

10月1日付けで登録定員枠を21名→25名に変更しました。小規模多機能の利便性が浸透しているため登録利用者さんは少しずつ増えてきました。居宅のケアマネさん、病院の相談員さんなどからの問い合わせを頂くと、小規模の存在を選択肢の一つとして考えてもらえていると思えるので嬉しく思っています。小規模の利用方法はケースバイケース。“小規模らしい対応”を紹介します。

《概要：要介護3、女性、一人暮らし、認知症あり》

訪問利用：2回/日、通い利用：3回/週、泊まり：2回/月、訪問診療2回/月  
日曜日の夕方、訪問するとYさんの姿が見えない。探していると寝室のベッド脇で「ここにいるよお〜。」本人曰く、「トイレで立ち上がる時に押し車に掴まり損ねて転んだ。痛くはないけど立てないから(ベッド)まで這ってきた。」

その場で血圧と体温測定。外傷の確認。大したことは無さそうだが一人で判断するわけにはいかない。担当者から事業所へ連絡が入った。

ケアマネ&看護師が状況報告を聞き相談する。夜間このまま一人で過ごしてもらうのは心配。家族の意向を確認する必要はあるが、泊まりを提案しホームで一晩様子を見たほうが安心ではないか。状況の詳細説明ができるよう訪問担当者から家族へ連絡し、状況と様子、ホームからの提案を伝える。家族と本人の了解得て、そのまま一緒に自宅を出発。一晩ホームの泊まり(緊急)利用追加となりました。

一晩の様子は安定。翌日は訪問診療日。診察も受け、「問題無し」と判断してもらえたので、再び自宅へ帰宅。本人も家族も、そしてホームスタッフも安心です。

このような対応が全てではありませんが、日常の様子です。(Y. O)



社内実技指導/S・O・S

10月、介護歴の浅い2名に口腔ケア指導を行いました。改めて・・・、介護の基本は利用者さんが“ちょっと助けてもらえば出来る”の“ちょっと”を手伝う補佐的な業務が主。口腔ケアも同様です。『OOさんは何ができて何が出来ないのか。』

個々の能力を把握することが大切。基本の介護技術を習った通りに誰に対しても忠実に同じ介護をします!!は間違い。そこを理解して関わらないと適切な介護サービスを提供している事にはならない。(と私は思っている。)

まずは・・・。他人の手や指が口の中に入る事への不快感を知ってもらう。その上でバタバタしないように必要物品を整える。誤嚥予防の声かけ技術や正しい姿勢の確保。口腔内に歯ブラシや指を入れるときの留意事項などを伝えました。

一番困難と感じたのは力加減。これは何の実技指導にも付き物で頭が痛い! 11月は、続：口腔ケアとトイレ介助(H. O)



《編集後記》「今年は何日寝たら終わるの?」言われて「はっ」とした。もう11月だ! 说白了テレビCMもクリスマスケーキやら年賀状が流れている・・・。一年って早い。充実しているのか何なのかバタバタと毎日が過ぎていく。キッズ達は今年の4月、6年生になった時点で塾等の予定が多くなり利用を中止した子もいる。今、6年生は2人。来年はもう中学生だ。時間が過ぎると同時に子供達はあっという間に成長する。よし、自分の成長を振り返るいい機会にしよう(R・W)

小学1~中学2年生が4コマ漫画じゃなくて塗り絵に夢中♪  
事務所の2階、キッズルームやトイレには塗り終わったイラストが張り出されています。す♪♪



↑トイレの中



↑キッズルームの壁



優秀賞  
2点

